

すぎなみ大人“熟”してる？

J u k u s i t e r u ? T I M E S ' 1 1

平成23年10月19日発行

発刊元：まつぎかわかみなと（事務局）

東京都杉並区梅里 1-22-32(社会教育センター内) TEL 3317-6621 FAX 3317-6620

VOL.10

「場づくり」へ向けて話し合い おしゃべりの中から知恵が集まる

10月17日
昼コース

第8回目の昼コース。前回、今後の活動を2つの柱で進めていくことが決定した。1つは、受講生同士自由な企画・実践により、講座外のグループ活動を進めていくこと(「部活動」実践)。そしてもう1つが、外の人たちと自由に関わりあえるような場＝「だがしや楽校」を開くための話し合いを進めていくこと(「場づくり」実践)。

そこで今回から、「場づくり」実践のための話し合いを、受講生たちが主体となって進めていった。今回主に話し合ったのは、「いつ」、「どこで」実践するか、ということ。しかし、それを決めようとする、誰を呼びたいか、どんな目的でやるか、などが関わってきて、新たな議題が持ち上がる。端から見ていると、それは「会議」というよりかは、「おしゃべり」に近いのかもしれない。決めねばならないことがあるのはもちろんだが、「自分たちが楽しむため」の決めごとだから、楽しそうな様相を帯びるのだろうか…。

さて、今回の話し合いでとても興味深かったのは、開か

れている空間で、「たまり場づくり」ができそうな場所のアイデア。公園や区の施設などの公共施設だけではなく、知る人ぞ知る、カフェやレストランなどもある(下記参照)。

地域活動を少しでも始めた人はご存知だろうが、人と気軽に集える場所、もしくはイベント等の発信活動のできる場所、というのは、あるようで実はなかなかない。探すのもけっこう大変だったりする。これは、大変貴重な知恵である。今後、場づくりについて話し合いをしながらも、その中で派生的に集まるこうした「知恵」も、大事にしていきたいものだ。この知恵が卒業後にも必ず生きるはず！(記事：川上)



【話し合いの記録】

23.10.17

<いつ>

- ・1月末～2月末
- ・土日

<目的>

- ・情報発信&新しい出会い
⇒外向きで実施

<対象>

- ・おばあちゃん、孫
- ・若者以外の上下層
- ・世代間での交流

<イメージ>

- ・個々のやりたいことをする
- ・ゆるいつながら(ゆるつな)
- ・助け合って情報発信

<どこで>←たまり場づくりのできそうな場

- ・子育てメッセへ参画
- ・堀ノ内の妙法寺(3のつく日を除く)
- ・セシオン杉並
- ・のびっばひろっぱ(井草森)
- ・永福町駅ビルの屋上庭園「ふくにわ」
- ・蚕糸の森公園
- ・あんさんぶる荻窪
- ・ゆうゆう館(大宮前、桃井ほか)
- ・地域区民センター(区内7ヶ所)
- ・「KISSカフェ」(西荻窪)
- ・ワンデイレストラン「かがやき亭」(西荻窪)
- ・コミュニティカフェ「WITH遊」(荻窪)
- ・細田工務店のギャラリー(阿佐ヶ谷)
- ・レストラン「えまや(荻窪)」
- ・弁天池公園のフリースペース(荻窪)

◎宿題

- ・各自、場づくりのできそうなところを探してみる
- ・同時期に開催されているイベント・催しをチェック!
- ・下見した場所の写真があれば事務局へ送る

自分のテーマを考えてみよう！

10月5日
夜コース

ワークショップを開催するということは、経験をデザインすること



まずは個人で考える

ワークショップ提案書！ empubliC

<発表用提案書>

テーマ・タイトル

どんな人が、
どんな体験をして、
どんな状態になる？

ワークショップの「売り」・特徴



皆で意見を出し合い考えてみる

前回から始まった1月28日ワークショップ開催に向けてのステップ3。今回は当日までの流れを確認したあと、再度ワークショップって何かを復習するところからスタートした。

ワークショップを構成する要素は3つ。①プログラムを考える ②ファシリテーションを行う ③準備・当日の段取りを考える である。そこで、今日から①のプログラムを考えてみることにチャレンジ！プログラムで「何を、どのような順で、どのように伝えと効果的か」を考えるのである。

当然、プログラムのトップは「テーマ」である。テーマをまず考え、次にどんな人が、どんな体験をして、どんな状態になる？を発表用提案書に記入していった。

今まで暖めていたテーマをすらすら書く受講生や、思いはあるのだけれど、うまく文字に表せない受講生など様子は

さまざま。いったん皆でシェアし、アドバイスや感想をもらってさらに悩みの深みにはまる人も…。でも、ここがポイント。完成したものが今完璧である必要はない、自分の提案が他の提案と組み合わせると面白いものになっていくかもしれない。皆で実践することの意味や楽しさはこの化学反応にあるとわかっていいのである。

「教えるだけではつまらない、どんな体験をしてもらいたいか？を考えてください。色々なことを一緒にやるから、気づきが深まるのだと考え、できればその後がいい仲間ができればいいですね！」と広石さん。提案書は次回までの宿題となった。そう、次回は皆から提案のプレゼンしてもらい、どの提案をワークショップで行うかを投票で決定する「総選挙」！そうすると今日は告示日？どんな提案が出てくるか、今から楽しみである♪（記事：湊）

参加者レポート

夜コースを二度ほど見学させていただきました。その中で私が特に大人塾の魅力だと感じたことは、それぞれの「得意分野」や「個性」を持ち寄ることで成し遂げることができるのが大きいことです。ワークショップを行うにあたっては奇抜な発想力と着実な実行力、異なる他を受け入れる包容力など、自分にはない他の参加者のみなさんの力に触れ、頼り、一人では成し遂げられなかったことを実現していくことと思います。今期のすぎなみ大人塾メンバーだからこそ生まれる唯一無二のワークショップの実現を楽しみにしています。
(社会教育実習生：村越仁美)

じゅくと 大人の塾っ人 大人塾に参加中の…イカした！大人たちに聞きました！

渡辺 美代子さん 女
①福岡県
②好き：好きなことには思いっきり飛び込む 嫌い：自分の世界に浸りこむ
③もの創り+コミュニティ作りの同好会「創り com」を結成。興味のある方はご参加お待ちしております！

大塚 敏子さん 女
①東京都
②好き：がまんづよいところ(ある意味嫌いなところでもあります)嫌い：ときどき短気っぽいところ
③イベント等のまとめの段階でちょっとした知恵を出すのが得意です。

金子智雄さん 男
板橋区 ②好き：自分のやりたいことをやってきているところ 嫌い：自己主張が弱い
③西荻でお店を開くのが夢。そのときは是非来てください。

保倉 りえさん 女
ホクラ
①東京根無草 ②好き：いかげん 嫌い：おおざっぱ
③芝居や演劇ワークショップの勉強中。最近新宿でも地域猫の取り組みが始まり、気になっています。

◆すぎなみ大人「塾」してる？の発行にあたって◆

この新聞は事務局スタッフ松坂・川上・湊の独断と偏見と多少の事実に基づき作成しております。